



特定非営利活動法人(認定NPO)

インド福祉村協会

会報
2006.4.1
Vol.11

India Welfare Village Society News

ホームページ <http://iwvs.web.infoseek.co.jp/> (ボランティア 募集中)
特定寄付金に税制上の優遇措置が認可

インド福祉村病院(現地名 アーナンダ病院) 開院8年目...新たな出発

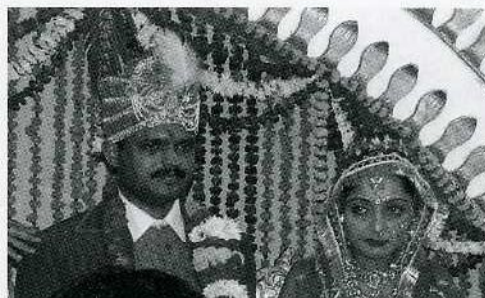
クシナガラ(北インド・UP州)

みんなの力で みんなの幸せを

理事長 山本孝之

2005年(平成17年)は大きな出来事が連続してありました。DR・P・N・グブタ院長の結婚式が11月26日州都ラクノーで行われました。6月には日本大使館、草の根支援により血液生化学自動分析装置、X線フィルム自動現像機、小型発電機が寄贈されより細かな、正確な診療が可能となりました。8月にはインド・トヨタ社より立派な自動車「INNNOVA」が提供されました。7年目は22000名の来院患者、2005年10月までの7年間で14万人の患者が訪れ貧しい村の人々に貢献し、感謝されております。

日本の皆様のご支援のお陰と感謝しております。



(グブタ医師結婚式)



(アーナンダ病院 正面 西側)



टी
ना

पिनियो
पारवट
पाकर
रूप से
देखा।
शेयरो
जम्पूत
1.35
अंक
अंक
निम्नी

लखनऊ में आनंद अस्पताल के नरेश शर्मा को इनोवा की चाभी सौंपते टोयटा किलोस्कर मोटर के प्रबंध निदेशक अत्सुशी दोयोशिमा (बायें)। फोटो: एसएनबी

(トヨタ自動車納車式:現地新聞より)

インド福祉村協会は、病める人々の治療を行うだけでなく、疾病を予防するための保健衛生思想の向上に努め、更に一歩進めて、インドの未来を担う子ども達の教育にも取り組んで、インドのみなさんの健康と幸せを守るために努力を重ねてまいります。

ぜひ、皆様のご協力とご支援をお願い申し上げます。

**グプタ院長の結婚式に
参列して** 理事 柴田昌雄

7周年のあゆみ

アーナンダ病院院長 P.N.グプタ



(グプタ院長披露宴)

アーナンダ病院(現地名)のグプタ院長の結婚式が昨年(2005年)11月26日に行われました。場所は、古都ラクノーで純インド式の結婚式でした。当協会からは、加藤専門委員と私が出席しました。式は午後9時からで、花婿は馬に乗り、数十人の参列者と共に花嫁の待つ館まで約2時間かけて行進しました。館では200人近い参加者が夜を徹して2人を祝う宴に参列しました。インドの人達が心から一人の結婚式を喜ぶ姿が私の心に深く残りました。改めてグプタ院長ご夫妻のご多幸を祈念します。



(新婚の2人)

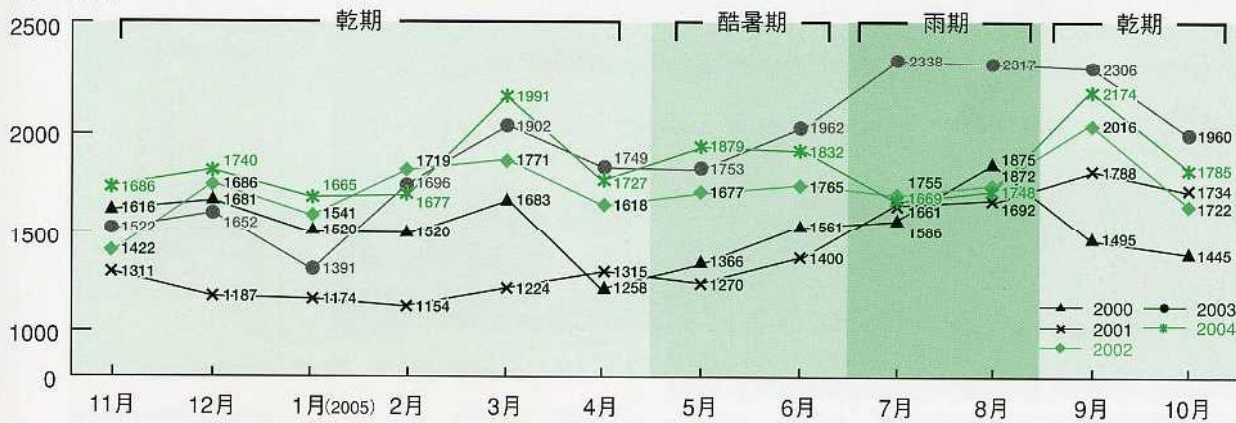
日本の皆様のご支援とインド福祉村協会のご尽力により開院8年目を迎えることが出来、職員同たいへん感謝しております。昨年の私の結婚式には彼女の出身地ラクノーでの披露パーティにもかかわらず、多数の方々がお祝いに来てくださいました。新婦 NIDHIはラクノーの大学を出て公務員の資格があります。今後とも暖かいご支援をおねがいいたします。

結婚式のため休診、代診をお願いしてご迷惑をおかけいたしました。これを機会に更に親切丁寧な診療に心がけ、患者に奉仕したいと決意しております。8年目には新たな保健衛生教育と人材育成に着手して、感染症の減少と生活向上に努力いたします。日本の皆様ぜひアーナンダ病院へお越しください。

【患者数】

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	統計
総患者	15,310名	21,140名	18,606名	16,910名	20,636名	22,578名	21,573名	136,753名
新来患者	6,756名	7,946名	6,247名	5,593名	7,547名	8,191名	8,274名	50,554名
再来患者	8,554名	13,194名	12,359名	11,317名	13,089名	14,387名	13,299名	86,199名
	男性 36%		女性 64%		小児 10%			

【総患者数】



【南アジア】



【インド クシナガラ周辺の主要都市】



(X線フィルム自動現像機)

現地住所

ANANDA HOSPITAL TEL : 91-5564-272428 / 91-5564-272429

住所 : VILLAGE SIRSIA DIST PADORONA 274403.UP.INDIA

トヨタ自動車より車の寄贈

事務局長 武田和敏

昨年3月に愛知医大土井教授らが現地病院にいかれました。そのメンバーの一人であった芝山章子さんが、現地で患者用の多目的用途の車が是非ほしいとのことを、叔父上の栗岡莞爾氏(トヨタファイナンシャルサービス会長)に話されました。この件はすぐにトヨタ自動車本社に伝えられ、インドとの国際協力の一つとして車を寄贈することを決めていただきました。車の寄贈は岡部専務より現地法人豊嶋社長に伝えられ、7月19日にデリーにて贈呈式が行われ、8月10日には納車式がラクノーにて行われました。

寄贈していただいた車は、患者さんの送迎等に有効に利用させていただきます。ご支援いただいたトヨタ自動車の各位に厚く御礼申し上げますと共に、インドの皆さんの健康と幸せを守るために努力してまいります。



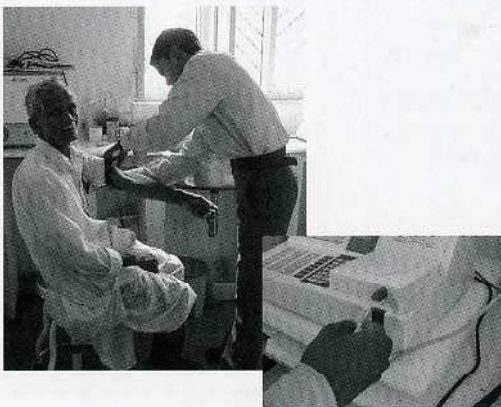
(TOYOTA INNOVA)

アーナンド病院の現状

医療専門委員 臨床検査技師 加藤伸也

9月24日、閑空を6時間遅れで、私たち夫婦はデリーに向け出発。26日から活動開始である。今回の目的は、外務省草の根資金で導入した、分析器の点検である。インド人検査技師が到着1週間前に、採用されていた。この技師により分析器は活用されており、既に患者検体を測定していた。全ての検査は診察前に結果を報告していた。

技師とも話をし、検査の知識も十分あること、かつ、検査技術も確実に持っていることを確認できた。



(技師による採血と分析器による検査)

アーナンド病院での

鍼灸治療 鍼灸師 加藤俊子

夫にアーナンド病院で鍼灸治療をしてみないかと誘われ、同行させていただきました。診察の様子の見学、そして実際に、鍼灸治療をさせていただきました。しかし、鍼の用意が少なかつたので、実人数としては7人、内2人は再治療として、変化を確認させていただき、延べ9人の治療をいたしました。

インド人は、日本人と筋肉の付き方、骨格、生活習慣の違いから痛む場所の違いはありますが、それは同じ人間の身体、治療は全く変わりません。腰痛は「しゃがむ」と言う生活習慣からか、ウエスト部分よりも、仙骨の所に痛みのある人が殆どでした。暑い国なのに、触診では、身体が冷えている人が多いように思いました。



(鍼灸治療の様子)



(新小型発電機)

インドの医療の現状を見て

研修医 堀田紗代



私は、今回ボランティアとして9月26日から4日間アーナンド病院での診療活動に参加させていただきました。

グプタ先生の診察室でアーナンド病院を訪れる患者さんの診察を見学し、ときに私も診察いたしました。1日に多いときで100名以上の患者数をこなしている先生は、とても手際よく診察し、薬を処方したり処置をしたりしていらっしゃいました。

患者さんの疾患はさまざま、私の研修している大学病院で見られるような気管支喘息や関節リウマチ、ウイルス感染などもあれば、これまで経験したことのないフィラリア症、アメーバ赤痢、ハンセン病、回虫症などもありました。

【風土病的疾病】

- 1) マラリア
- 2) フィラリア症
- 3) ハンセン病
- 4) カラアザール
- 5) 日本脳炎
- 6) アメーバ赤痢
- 7) 甲状腺腫
- 8) 狂犬病
- 9) 蛇毒
- 10) 象皮病

IWVSのあゆみ

●2002年		●2003年		●2004年・2005年	
5月	IWVS、総会、理事会 会報7号発行	5月	IWVS、総会、理事会 会報8号発行	04月	愛知NGOフェスタ展示会参加
6月	ボランティア貯金支援4年目開始 結核、喘息、トリコキナス、無料診療開始 ECG、X-P、初診料金再検討	6月	ボランティア貯金支援5年目開始 Gupta医師 ラクノー 医学講習 8週間	5月	IWVS、総会、理事会 会報9号発行 ボランティア貯金支援終了
7月	外務省草の根支援協力申請	8月	自動車 マルチスズキ 購入	11月	アーナンダ病院開院6年完了、7年目開始 さわらび文化祭 バザー参加
8月	カレッジ オブ 豊橋 参加	11月	アーナンダ病院開院5年完了、6年目開始	12月	スマトラ沖地震発生、インド津波被害
9月	インド大列車事故	12月	ボランティア貯金支援状況 事務局、現地調査	05月	認定特定非営利活動法人(認定NPO)認可
11月	アーナンダ病院開院4年完了、5年目開始 さわらび文化祭、愛学大文化祭参加			2月	JICA草の根協力支援型事業申請 外務省NGO支援無償資金協力、認可
●2005年、2006年					
05月3日	柴田昌雄(理事)、土井まつ子(医療専門員)、 仲井美由紀(愛知医大看護部)、芝山章子(同) 現地病院訪問 IWVS理事会、臨時総会 会報10号発行 HOLI祝祭日	9月	IWVS理事会。篠原雅子(JICA ND)病院訪問 臨床検査技師Gyan Prakash採用 愛知万博終了 加藤伸也(医療専門員)、加藤俊子(鍼灸師)、堀田紗代(医師)現地病院訪問 中村義博(理事)現地病院訪問	10月	アーナンダ病院開院7年完了、8年目開始
5月	IWVS理事会 総会	10月	アーナンダ病院開院7年完了、8年目開始	11月	Gupta院長Nidhi女史と結婚式(ラクノー) 柴田昌雄(理事) 加藤伸也(専門員) 山野井純子結婚式参列 さわらび文化祭バザー参加
6月	外務省NGO支援無償資金の医療機器3点設置	11月	Gupta院長Nidhi女史と結婚式(ラクノー) 柴田昌雄(理事) 加藤伸也(専門員) 山野井純子結婚式参列 さわらび文化祭バザー参加	12月	診療アシスタント女性採用 加藤伸也(専門員)現地病院訪問
7月	トヨタ(インド)社よりINNOVA自動車贈呈式(ND) 日本脳炎流行(UP州、GRP周辺)	12月	Gupta院長ハネムーン中代診医師 脇田知恵(JICA中部) 平本実(JICA ND)現地病院訪問 IWVS理事会	06月	大竹紘一(理事)現地病院訪問
8月	トヨタ自動車納車式(ラクノー) 大竹紘一(理事)現地病院訪問	2月	外務省NGO支援無償資金協力完了報告 柴田昌雄(理事) K.L.Bahl(理事)外務省訪問、診療アシスタント女性採用		

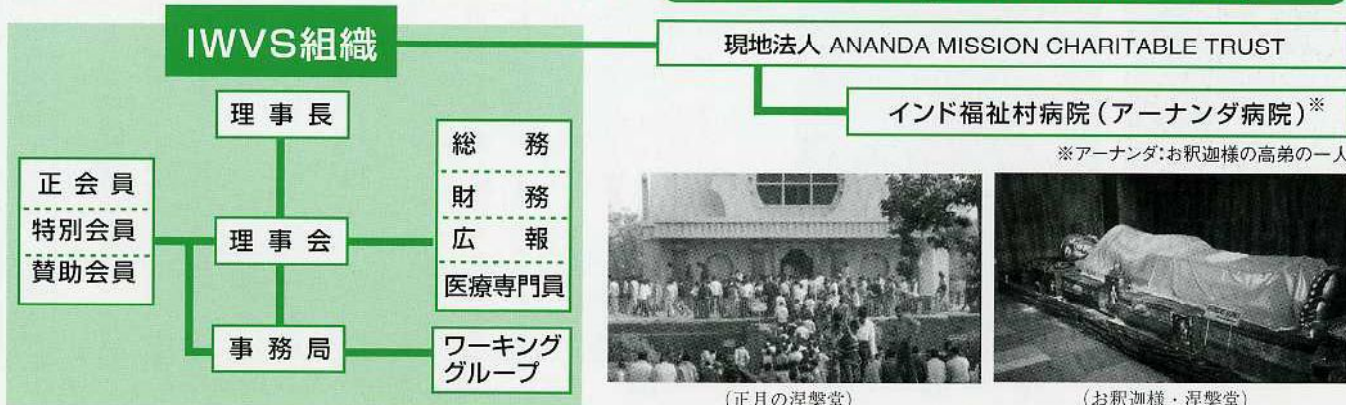
特定非営利活動法人
(認定NPO)

インド福祉村協会

(IWVS)

インド福祉村協会は、民族、宗教を超えて日本とインドの両国民が共通の価値観を共有し、互いに学び合うことを理念として、インド国の医療に恵まれない人々に対して、プライマリ・ヘルスケアを中心とする診療活動と保健衛生活動及び不就学児童らに対する教育活動を行うことによって、インド国の医療の充実及び幼児教育の充実を図り、もって両国の友好に寄与することを目的としています。診療活動としてクシナガラにてインド福祉村病院(アーナンダ病院)を開設、運営を行っています。

ホームページ <http://iwvs.web.infoseek.co.jp/>



(正月の涅槃堂)



(お釈迦様・涅槃堂)

入会のお願い

正会員: 年会費 5,000円 …… 総会の議決権があります。協会の会報を毎回お届けします。プロジェクトの進み具合、現地の情報を逐次お知らせします。現地宿泊の便宜を図ります。

特別会員: 年会費 100,000円(一口以上) 総会の議決権はありませんが、代表一名を正会員として登録します。その他正会員と同様。

賛助会員: 年会費 1,000円(一口以上) 総会の議決権はありません。協会の会報をお届けします。

【会費・寄附の支払い方法】

郵便振替 郵便振替用紙を利用し、最寄りの郵便局より手続きを行う。

ご一報いただければ用紙をお送り致します。また、入金が確認されましたら領収書を送らせていただきます。

郵便振込(口座番号)00830-2-65008 (加入者名)インド福祉村協会

募金のお願い!

インドのみなさんへ
あなたの善意を

インド福祉村協会 (INDIA WELFARE VILLAGE SOCIETY)
理事長/山本孝之(さわらび会理事長) 常務理事/中村義博(株)トラベルサライ社長)
理事/柴田昌雄(愛知学院大前教授) 高木元昊(前慈恵寺住職) ほか
事務局長/武田和敏(軽費老人ホーム若菜荘施設長)

■発行者 インド福祉村協会(IWVS)
■発行人 大竹紘一 ■編集協力 文創社
■インド福祉村協会事務局
〒441-8124 愛知県豊橋市野依町山中19-12
TEL:0532-48-1138 FAX:0532-48-2365

アーナンダ病院を
支える学校 理事 田中久子

浜松地区より常にアーナンダ病院を支えてくださる2つの学校を紹介いたします。浜松医科大学硬式テニス部の皆さんは秋の文化祭、バザーの収益金を毎年アーナンダ病院に寄付してくださいます。故川島吉良教授(前学長)の時代より続いて

おり、医学を勉学されている学生さんの志がグプタ院長への力添えとなっており、浜松市立三方原小学校の取り組みは、バザー、大根、さつまいも等を、種から育ててその売り上げ収益金の一部を寄付してくださいます。03年、04年は金融庁より「金融知識普及功績者表彰」を受賞しました。団体の部では日本で唯一です。このように皆さんの支援を受けております。